

文化教育記者クラブ
県政記者クラブ 同時配布

農林部奈良の木ブランド課
木材産業振興係：豊田・内田
電話 0742-27-7470(内線 3964)
FAX 0742-27-1070
教育委員会事務局学校教育課
義務教育係：荒木・勝谷
電話 0742- 27-9854(内線 5262)
FAX 0742- 23-4312

報道資料

「奈良の木学習机」が完成しました

奈良県産材を使用した、機能性とデザイン性に優れ、使いやすい「奈良の木学習机」が完成。新年度から開校する県立青翔中学校等に導入します。

奈良県では、児童・生徒に木のぬくもりと良さを実感してもらい、物を大切にする心を養い、情緒豊かな成長や環境意識の醸成を促し、県産材についての学習を深めてもらうとともに、県産材の需要拡大につなげていくため、県産材を使用した小・中学校用学習机のデザイン開発を進めてきました。デザイン開発は、関係分野の専門家で構成するプロジェクトチームにより実施。あわせて導入校における森林環境教育の充実に向けた教材も作成しました。

1. デザイン開発のポイント

POINT
1

県産のスギ、ヒノキを使用し、触れたときに「あたたかみ」や「やわらかさ」を感じられ、使いやすい

POINT
2

子どもの成長に合わせた高さ調節が可能

POINT
3

シンプルですっきりした飽きのこないデザインで丈夫

POINT
4

軽くて持ち運びしやすい

天板等がよく触れる部分の角はアールをつけてあり、やさしい手触りに

一般的な可動式のタイプより締め付けボルトの数を少なめにし、楽に調節できるよう工夫

脚の枠組み構造には、より強度のあるヒノキを使用。脚の枠組みに角度を付けることによってさらに強度を増すことと、圧迫感を無くす工夫

脚部に枠組み構造を取り入れ、すっきりした、軽快なデザインとするとともに軽量化も考慮



強度が必要な脚部にはヒノキを、身体を直接支える座面にはよりやわらかであたたかみのあるスギを使用しており、より座り心地が向上するよう工夫

斬新なカンチレバー構造を採用

背、座共に子どもの成長に合わせて数段階の高さ調節が可能

要所の形状や角などを丸めることで、触れたときのやわらかな感じと安全面を考慮

2. プロジェクトチーム

- ・奈良女子大学 教授 中山 徹、奈良女子大学 大学院生ほか
- ・デザイナー うたたね 山極 博史
- ・人間工学 県産業振興総合センター 澤島 秀成
- ・設計試作 (有)島家具製作所 島 康記
- ・桜井市教育委員会
- ・野迫川村教育委員会
- ・奈良県教育委員会
- ・奈良県森林技術センター
- ・奈良県奈良の木ブランド課

3. 今後の導入予定

- ・平成26年4月から開校する県立青翔中学校：40セット
- ・野迫川村立野迫川小学校に14セット、野迫川村立野迫川中学校に14セット

※別添：「木のつくえがやってきた」（小学生用森林環境教育教材）

今回、教卓及び教員用机、椅子も奈良の木でモデル的に製作しました。こちらは県立青翔中学校に1セット導入します。

